

クラス番号	232	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	篠田道子
テーマ	医療・福祉サービスの先進的な取り組みに学ぶ		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等： エクスカージョン型フィールド実践演習では、地域に暮らす多様な人々へのインタビューや、全国の先進的な医療・福祉施設等での見学・研修を通して、社会福祉の幅広い専門知識とスキルを習得します。 みなさんは先進的な医療・福祉サービスというと、どのような取り組みをイメージしますか。テクノロジー、ICT、福祉機器などを駆使したものでしょうか。このような取り組みももちろん大切ですが、医療・福祉は人財活用がメインになります。人と人をどのようにつないで、質の高いサービスを提供するのか、あるいはどのような人を育てるのが必要になります。テクノロジーや ICT はこれらをつなぐツールになります。先進的な取り組みにはどちらも大切です。 具体的には、以下のような内容・方法で進めます。 1) 認知症や重度な障害のため、意思決定が困難な人に対して、どのような意思決定支援を展開しているのか、多職種間でのコミュニケーション方法や ICT の活用状況など、現状と課題を学びます。 2) 住民、行政、専門職が三位一体となった地域づくりのプログラム、実践、課題、評価を多面的に学びます。 3) 新型コロナウイルス感染症や災害など、危機に対してどのような方法・工夫で、サービスを継続しているか、危機に強い人財育成やネットワーク形成を学びます。 授業計画： 先進的な取り組みを実践している地域・施設・事業所へのフィールドワークを中心に展開します。フィールドワークは準備が大切です。取り組みを後押しする制度・政策関連の資料を読み解き、インタビューガイドを作成し、多様な方々へのインタビューを実施し、その後報告書を作成します。後期は、その成果をクラス内で共有し、現状と課題を整理します。 また、国内外のゲスト講師（フランス・イタリアなど）、卒業生と合同の事例検討（ケースメソッド）、篠田ゼミ修了生との合同ディスカッションなど、学外の人々との交流を深め、ネットワーク形成にチャレンジします。 これらの学習と並行して、3・4年次の専門演習に向けて、レポート作成やプレゼンテーションスキル向上のための指導を行います。			
担当教員からのメッセージ			
質問はいつでもメールで受け付けていますので、「mshino@n-fukushi.ac.jp」にご連絡ください。 医療・福祉は実践の学問です。先進的な取り組みを行っている地域・事業所・施設に赴いてフィールドワークを実践したいと思います。ただし、コロナ禍が収束するまでは、オンラインワークも併用して進めるなど、柔軟な対応になることを予めご了承ください。 本クラスは、先輩や現場で出会った人々とのつながりを大切にしています。一人でも多くの人と知り合いになり、縁を紡いでいきたいと考えている方の参加を歓迎します。			